

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和2年3月31日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名  
経理責任者名  
(又は議員名

土居 幸則



印  
印)

令和元年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり  
令和元年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和元年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入  
政務活動費 440,000 円

【内訳 40,000円×11カ月】

2 支出 158,319 円

3 残額 281,681 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	158,319	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	50,000	
		交通費	50,419	
		宿泊費	42,900	
		その他の経費	15,000	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	0	広報紙等印刷製本費	0	
		送料	0	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 土居 幸則 )

( 研究研修費、No. / )

(領収証等貼付箇所)

**領収書**

土居 幸則 様


金 5,000 円

但し、地方議員向けセミナー受講料として。  
上記正に領収いたしました。

令和 元年 5 月 29 日

地方自治を学びあう会・いまり


〒848-0026 伊万里市大川内町丙1873-2

28 代表 盛 泰子  印

領 収 書

土居 幸則 様 令和元年 6 月 8 日 No \_\_\_\_\_

田川郡添田町大字添田2151番地  
添田町財政ゼミナール

代表 金高 伸吾 

¥ 1,000 -  
上記正に領収致しました。

内 訳

摘 要	金 額
出張財政出前講座 with simulation ふくおか2030参加費	1,000 円
出張財政出前講座 with simulation ふくおか2030懇親会費	0 円
合計	1,000 円
備考	

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 土居 幸則 )

( 研究研修費、No. 2 )

(領収証等貼付箇所)

**領 収 書**


令和元年6月29日

土居 幸則 様

**5,000 円**

輝け議会!!対話による地方議会改革フォーラムin平戸  
及びSIMULATION2030研修会参加費として

ローカル・マニフェスト推進ネットワ  
代表 神吉 信之



ご利用ありがとうございます。



福岡北九州高速道路公社

料金所では一旦停止してください。

料金所 粕屋

19年 6月29日

9時44分 車種 普通

通行料金 ¥620-

現金 ¥620-

お問い合わせ先 (092)631-0122

2030-01-0075

ご利用ありがとうございます。

福岡県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 福岡西

TEL (092)883-5712

福岡前原道路

19年 6月29日10時02分

車種 普通

通行料金 ¥150-

(現金)

福岡県道路公社

福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50

取扱番号2998-12-00

ご利用ありがとうございます。

福岡県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 前原

TEL (092)324-5502

福岡前原道路

19年 6月29日10時09分

車種 普通

通行料金 ¥210-

(現金)

福岡県道路公社

福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50

取扱番号2524-07-00

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 土居 幸則 )

( 研究研修費、No. 3 )

(領

ご利用ありがとうございます。

福岡県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 前原

TEL (092) 324-5502

福岡前原道路

19年 6月30日 15時56分

車種 普通

通行料金 ¥210-

(現金)

福岡県道路公社

福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50

取扱番号 2528-01-00

ご利用ありがとうございます。

福岡北九州高速道路公社

福岡県道路公社

料金所では一旦停止してください。

料金所 福岡西

領 収 書

' 19年 6月30日

16時 3分 車種 普通

通行料金 ¥150-

現金 (前原) ¥150-

福岡県道路公社 福岡西料金所

お問い合わせ先 (092) 883-5712

福岡北九州高速道路公社

お問い合わせ先 (092) 631-0122

2987-05-0052

ご利用ありがとうございます。

福岡北九州高速道路公社

福岡県道路公社

料金所では一旦停止してください。

料金所 福岡西

領 収 書

' 19年 6月30日

16時 3分 車種 普通

通行料金 ¥620-

現金 (高速) ¥620-

福岡県道路公社 福岡西料金所

お問い合わせ先 (092) 883-5712

福岡北九州高速道路公社

お問い合わせ先 (092) 631-0122

2987-05-0051

No. 57

領 収 書

福岡県

2019年7月26日

土居 幸則 様

¥29,000. -

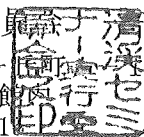
第24回清溪セミナー参加費として上記の金額を領収いたしました

清溪セミナー実行委員会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘

日本青年館

TEL 03-6452-9011



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派 (議員) 名 土居 幸則 )

( 研究研修費、No. 4 )

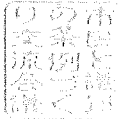
No. \_\_\_\_\_  
2019年 7月 20日

**領 収 書**

土居 幸則 様

¥ 10,000 -

但し 交流会議2019夏企画参加費 として  
上記正に領収致しました。

領収書 に とも 印 を 捺 す	内 部 税 務 金 額 消 費 税 額 消 費 税 率	市民と議員の条例づくり交流会議 〒 102-0082 東京都千代田区一帯町9-7 一帯町上ビル6F TEL:03-3234-3808 / FAX:03-3263-8463	
------------------------------------	--------------------------------------	--	--

領 収 証

No. Web190612122527  
発行日: 2019年06月12日

江口徹・土居幸則・兼本芳雄 様

¥188,400-

お支払い方法: 現金・クレジットカード・その他でのお支払いを含みます

但し、ご旅行代金として

上記金額 正に領収いたしました。

ANAセールス株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-14-1  
フロントプレイス日本橋



AG765742  
①お客様用

## 政務活動費 調査旅費等報告書

( 会派 (議員) 名 土居 幸則 )

日程	令和元年6月29日 から 令和元年6月30日 まで2日間		
日時	視察地	目的・概要	所感等
6月29日	長崎県平戸市	<p>輝け議会！！</p> <p>対話による地方議会改革 フォーラムin平戸</p> <p>問題提起① 「人口減少社会に期待される地方議会の役割とは？」講師：北川正恭（早稲田大学名誉教授）</p> <p>問題提起② 「住民対話による議会改革」講師：立石隆教（前小値賀町議会議長）金子恵（長与町議会議員）</p> <p>〈第2部〉クロストーク 「人口減少社会に期待される地方議会の役割とは？」講師：立石隆教（前小値賀町議会議長）金子恵（長与町議会議員）・他</p> <p>〈第3部〉グループワーク 「人口減少社会に期待される地方議会の役割とは？」ファシリテーター山口寛（NPO法人地域交流センター津屋崎ランチ代表）</p>	<p>人口減少社会での地方議会の責任など北川先生ならではの、分かりやすく現実的な方策など、大変ためになった。</p> <p>夜間議会の実施などが住民の自治意識向上に役立っている反面、若者の政治参加を促すため満50歳以下の議員報酬を引き上げる条例が制定されたが、「金目当て」と言われて若者が出馬できない状況となり廃止したと報告。「議会だけの改革ではなく、住民と一層の対話が必要」と訴えた。</p> <p>パネルディスカッションでは、平戸市議会の久保堅太議長は、議会を身近に感じてもらうための報告会を開きたいが、過去に陳情の場になったという経緯もあり、「今後、ワークショップなどを通じ住民と意見を交わしたい」との事。議会と住民の信頼構築をテーマにしたグループワークでは、人口減少社会における具体的かつ効果的な議会運営とあり方について、参考となる取組みなどを学ぶ事が出来た。</p>



日時	視察地	目的・概要	所感等
6月30日	長崎県平戸市	対話型自治体経営シミュレーションゲーム 「SIMUULATION2030」体験会	シミュレーションでは、各班に分かれ、それぞれが市長や議員等の役になり、各立場で最も最適とされる課題への解答（方策）を選択し問題解決に取り組むが、他の班の方たちから、色々な指摘を受け答えに窮することもあり、多様な考えがあるなあと思った。この手法を実社会の議会にも活用し、実りある成果を出せればと思った。



(別添様式3)

## 政務活動費 調査旅費等報告書

(会派(議員)名 土居 幸則 )

日程	令和元年7月26日から 令和元年7月28日まで 3日間		
日時	視察地	目的・概要	所感等
7月26日 ～27日	東京都	<p>清溪セミナー受講 講義Ⅰ「被災自治体からの提言～熊本地震の経験から(仮)～」 講師：大西一史(熊本市長)</p> <p>講義Ⅱ「女性の視点を生かした災害に強い地域づくり」 講師：池田恵子(静岡大学教授・同防災センター兼任教員)</p> <p>グループ討議「防災ワークショップ」 講師：池田恵子(静岡大学教授・同防災センター兼任教員)</p> <p>講義Ⅲ「災害大国ニッポン、体験的防災論」 講師：福岡正行(常任講師・東北福祉大学特任教授)</p> <p>講義Ⅳ「男女共同参画と地方自治」 講師：坂東真理子(昭和女子大学理事長・総長)</p>	<p>熊本地震から3年が経ち、行政のやるべき事などは、もちろん準備し対応したつもりでも、やはり想定外の諸問題にぶつかり、その問題解決にいかに取り組みかが首長として大切であり、課題だと思った。</p> <p>災害対応の主な課題として、被災者には多様な人がいる割には、男性中心の考えが多く女性やマイノリティーに大した配慮が少ないと感じた。画一的な対応にならないよう多面的かつ柔軟な対応策が必要だと思った。</p> <p>災害時における行政の対応や被災市民の性別・年齢・立場等における手当の違いなどについて、行政・市民それぞれが共通認識を持ち、受益者と言う立場ではなく提供者として何が出来るか?を考えるべきかと思った。</p> <p>近年多くの災害にみまわれ、その経験により体験的防災対策が検討・実施されているべきところだが、行政の判断・リーダーシップと言うものが、まだまだ未成熟だと思った。</p> <p>講義Ⅳでは、世界における男女格差において北欧諸国に比べて日本は、まだまだ遅れていて、各分野への女性進出が課題だと思った。</p>

日時	視察地	目的・概要	所感等
7月28日	東京都	<p>講義Ⅴ「真の地方創生と地方自治」 講師：片山善博（早稲田大学大学院政治学研究科教授）</p> <p>市民と議員の条例づくり 交流会議 2019 夏 つなぐ会議改革 受講 基調提起 廣瀬克哉（法政大学副学長・法学部教授）</p> <p>レポート「議会改革の成果と歩み」長野基（首都大学東京都市政策科学科）</p> <p>話題提供「ここが？だよ自治体議会」小田理恵子（前川崎市議会議員／株式会社public Doc&amp;Company）</p> <p>実践報告 「議会基本条例10年目の検証」荻野泰男（所沢市議会議員／前議長）</p> <p>「議会改革のミッションロードマップ」～「未来を語る議会」あるために～清水克士（大津市議会局次長）</p>	<p>講義Ⅴでは、地方創生については、色々な分野の方々が実施の基づいた提言をされているが本市においても、これまでの歴史と時代の変化に対応したビジョンを掲げ、より具体的な政策を実施し、失敗を恐れずチャレンジすべきだと感じた。</p> <p>議会改革には、これまでの経過に対して色々な策が講じられているが実施する者とその成果など、議会議員と市民とでは、求める物にたいしてのミスマッチがあるように感じられる。そのギャップをどう埋めるかが今後の課題だと思う。</p> <p>議会改革については、大小各地域の自治体でそれぞれの取組みがなされているが、実施する議会側とそれを見る市民側との間に、価値観の違いがあるようだ。</p> <p>各自治体の大小にかかわらず、古参、新人、男女差、立場等があり世間の常識が必ずしも反映・実現できないもどかしさを感じた。変化を恐れず改革に取り組む事の重要性が大事だ。</p> <p>各自治体・議会がそれぞれ本気で取り組んでおられるが、目先のパフォーマンスや市民受けを狙った施策が多いように感じると共に市民の無関心さが現状を招いているようにも思われる。</p> <p>議会機能の強化について、特に感じるのは政策立案機能について、本市においてももっと本格的に取り組む必要があると思う。行政指導型もあるが議会の多様な考えを具現化することも一考かと。</p>

日 時	視察地	目的・概要	所感等
		<p>議論できる議会へ！議員による新人議員研修 中浦新悟（奈良県生駒市議会）</p> <p>「愛してっぺよ！議会！」～改革を継続するための議員研修～ 岩崎弘宜（取手市議会事務局次長）</p>	<p>議会における力関係やこれまでの慣習など、改善すべき事柄が多く共感すると共に、事の根深さを痛感した。</p> <p>中高生とのコラボなど、双方にとって学ぶ点も多く、本市においても議会傍聴のみにとどまらず出前講義など現場主義で、どんどんとりくむべきと思った。</p>

令和元年度		政務活動費											
旅行者	役職名 議員	用務地	発着駅名	經由	鉄道賃			料金計	備考	日当及び 食事代	宿泊料		割引 備考
					旅程	運賃	超・特・急				宿泊地	定額	
	江口 徹 兼本芳雄 土居幸則	第24回 清溪セミナー 市民と議員の条例づくり交流会議2019夏(第19回)	福岡空港	浜松町					バス	3,000			
			福岡空港 ~ 羽田空港							3,000			
			羽田空港 ~ (東京駅)	浜松町	160		160	160	バス	3,000	新宿区	14,800	バック料金
7										3,000			移動なし
										3,000	新宿区	14,800	
7			(東京駅) ~ 羽田空港	浜松町	160		160	160	バス	3,000			
			羽田空港 ~ 福岡空港							3,000			バック料金
			福岡空港 ~ 新飯塚							3,000			
経号				計	320		320	320		15,000		29,600	
※											合計金額	80,960	

※ はバック料金

# 輝け議会！！

対話による地方議会改革フォーラム in 平戸

申込はこちら



## 地方分権・少子高齢化社会の時代において 地方議会が担う真の役割とは

地方分権の進展や人口減少社会の中で、住民自治の根幹をなす機関として、今、地方議会は、地域の実情に応じた効果的な議会機能の発揮を求められています。この機に他の地域の議員や自治体職員、市民とこれから求められる議会の役割について考えましょう！

**とき** 6月29日(土)～30日(日)  
(開場 13:00 開始 13:30～)

**ところ** 田平町民センター  
長崎県平戸市田平町山内免 270-1 (Tel) 0950-57-0207

**対象者** 地方議会議員、行政職員、一般市民

**参加費**

	(1日目)	(2日目)
地方議会議員	3,000円	2,000円
行政職員・一般	1,000円	1,000円

**【交流会費】**  
**1,500円**  
平戸の食材やお酒を味わいながら交流できます

### 内容

6月29日(土) 13:00～18:30

13:30《第1部》  
問題提起①  
「人口減少社会に期待される地方議会の役割とは？」  
北川 正恭 (早稲田大学名誉教授)

問題提起②  
「住民対話による議会改革」  
立石 隆教 (前小値賀町議会議員) 金子 恵 (長与町議会議員)

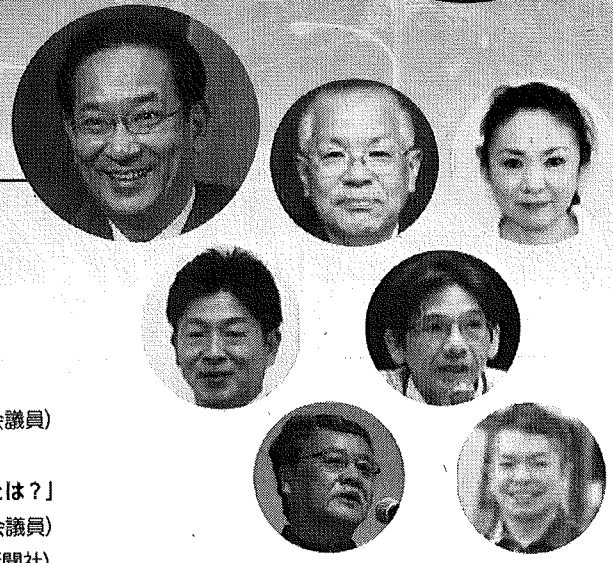
14:30《第2部》クロストーク  
テーマ「人口減少社会に期待される地方議会の役割とは？」  
立石 隆教 (前小値賀町議会議員) 金子 恵 (長与町議会議員)  
大久保 堅太 (平戸市議会議員) 前田 隆夫 (西日本新聞社)  
北川 正恭 (早稲田大学名誉教授)

コーディネーター 神吉 信之 (LM 推進ネットワーク九州)

15:30 休憩

15:40《第3部》グループワーク  
テーマ「人口減少社会に期待される地方議会の役割とは？」  
ファシリテーター 山口 寛  
(NPO 法人地域交流センター津屋崎ランチ代表  
/ 慶応義塾大学大学院政策・メディア研究所特任教授)

17:15 まとめ 北川 正恭  
17:30 終了・交流会 (18:30 終了)



6月30日(日) 9:30～12:30

対話型自治体経営シミュレーションゲーム  
「SIMULATION2030」体験会  
「SIMULATION2030」は、自治体経営を体感するゲーム式ワークショップです。ゲームを通して自治体経営で大切な「対話」「納得」「合意形成」「政策選択」「説明責任」など多くの気づきを得られるため、全国的な広がりを見せています。  
【協力】平戸自主研修グループ「きょうまくいく」  
代表 瀧下賢二ほか

【主催】ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州 【共催】平戸まちづくり市民委員会  
【後援】ローカル・マニフェスト推進議員連盟・長崎県青年団連合会 【協力】早稲田大学マニフェスト研究所  
【連絡先】TEL: 080-5273-7606 (神吉) e-mail: kanki2001@jcom.home.ne.jp

江口徹 様

「輝け議会！！ 対話による地方議会改革フォーラム in 平戸」のお申し込みありがとうございます。

下記の内容で受付いたしました。

=====  
お名前 : 江口徹  
懇親会 : 参加する  
ふりがな : えぐちとおる  
メールアドレス : [info@eguchi-tohru.com] (mailto:info@eguchi-tohru.com)  
郵便番号 : 8208501  
都道府県 : 福岡県  
住所 : 飯塚市新立岩5-5  
  
TEL : 0948-22-0214  
会社名 : 飯塚市議会  
所属/役職 : 市議会議員  
議会改革フォーラム : 参加する(議員3)  
SIMULATION2030(50名) : 参加する(議員2)  
その他連絡事項等 :  
同じく飯塚市議会の土居幸則と参加します。  
よろしく申し上げます。

輝け議会！！ 対話による地方議会改革フォーラム in 平戸  
[\[https://kokucheese.com/event/index/566192/\]](https://kokucheese.com/event/index/566192/)



# 第24回 清溪セミナー

120名限定

住民主体の地方自治を進めるために

2019年  
7月26日(金)~27日(土)

会場：**日本青年館ホテル 8F 会議室**

160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1  
(地下鉄銀座線「外苑前駅」徒歩5分)

主催：**清溪セミナー実行委員会**

共催：**一般財団法人日本青年館**

参加対象：地方議会議員等 **約120名(限定)**

参加申込：所定の申込書を「FAX」「郵送」「メール」のいずれかで  
下記までお送りください。受付後に請求書を「FAX」  
もしくは「メール」にてお送りし申込完了となります。  
また、公式ホームページにある申込フォーム  
からお申込みいただけます。



申込締切：2019年7月12日(金) 17:00必着

参加経費：参加費(会場費・資料代等)

**29,000円(税込)**

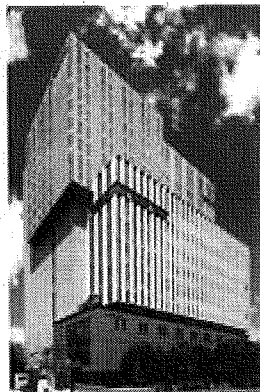
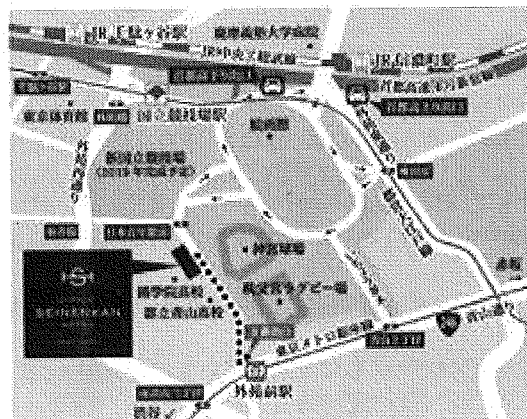
27日 昼食・情報交換会(ドリンク付)参加費

**1,900円(税込)**

宿泊：日本青年館ホテルでの宿泊はネット予約または  
ホテルパックで利用できます。

ご手配は各自でお願いいたします。

<https://nippon-seinenkan.or.jp>



日本青年館ホテル全景

議員同士の全国ネットワークに  
参加しませんか



第24回清溪セミナー実行委員会

委員長 **白井 えり子**

(愛知県白鳥市議会議員)

第1回清溪セミナーを開催したのは平成9年2月。地方自治体の自治能力と地方議会のあり方が問われる時代の真っ只中、自治体改革、議会改革を旗印に地方議員による地方議員のためのセミナーとして実行委員会形式でスタート。講師の先生から国や地方政治の課題を学習し、参加者同士も交流を深めて来ました。

元号も改まり、新しい時代を迎えています。この「新しい時代」は決して明るいものではありません。厳しい国際環境の中、自治体は少子高齢化の進行、地方経済の低迷、人口流出などなど難題は枚挙のいとまありません。それに加え、うち続く自然災害への対応は自治体運営に巨大な足枷を強いています。

第24回の今年のセミナーは、この「災害」をテーマにしました。災害は、自治体が抱える諸課題を集中的に露呈させる事案だからです。災害に対処することは、自治体を取り巻く諸課題への適切な対応の「道標」になるに違いありません。

セミナーでは、被災自治体から大西熊本市長、防災において女性の視点が不可欠なことから静岡大学の池田先生をお招きし、2日目は議会の役割、議員としての重要な視点、国の政策課題、動向把握など実際に役立つ講座を企画いたしました。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

講師 (講演順・敬称略)

大西 一史 (熊本市長)

池田 恵子 (静岡大学教育学部教授・防災総合センター兼任教員)

福岡 政行 (常任講師・東北福祉大学特任教授)

坂東 真理子 (昭和女子大学 理事長・総長)

片山 善博 (早稲田大学大学院政治学研究所教授)

# 第24回 清溪セミナープログラム

※日程及び講師につきましては、政局等により変更または延期、中止となる場合があります。

## 第1日目 7月26日(金)

- 12:00～ 受付  
12:30～12:50 開講式  
12:50～13:00 休憩  
13:00～14:30 講義Ⅰ



### 「被災自治体からの提言 熊本地震の経験から」(仮)

講師 大西 一史  
(熊本市長)

#### (プロフィール)

熊本市長。昭和42年熊本市生まれ。日商岩井メカトロニクス(株)、内閣官房副長官秘書、熊本県議会議員(5期)を経て、平成26年12月に熊本市長に就任(現在2期目)。熊本地震では自らツイッターを駆使し、市民への積極的な呼びかけを行うなど陣頭指揮を執った。

#### (内容) (仮)

熊本地震発生から3年が経過。被災自治体市長として発生直後から陣頭指揮をとった経験から、BCPやSNS発信など様々な経験をもとに、地方議員や議会の果たす役割を提言する。

14:30～14:45 休憩

14:45～16:15 講義Ⅱ



### 「女性の視点を生かした災害に 強い地域づくり」

講師 池田 恵子  
(静岡大学教育学部教授・防災災総合センター兼任教員)

#### (プロフィール)

一橋大学大学院修了後、国際協力の現場を経て平成12年より静岡大学教員。専門は、社会地理学。日本の地域防災体制にジェンダー・多様性の視点を取り入れるための調査、研修、政策提言に取り組む。減災と男女共同参画研修推進センター共同代表。

#### (内容)

災害時に被害を拡大しないためには、性別や多様な立場の住民の視点を生かした地域防災体制と日常的な地域ネットワークの構築が不可欠。実践事例を踏まえ、現実的な導入方法を提言する。

16:30～18:30 グループ討議

### 「防災ワークショップ」

講師 池田 恵子  
(静岡大学教育学部教授・防災災総合センター兼任教員)

## 第2日目 7月27日(土)

9:00～10:30 講義Ⅲ



### 「災害大国ニッポン、 体験的防災論」

講師 福岡 政行  
(常任講師・東北福祉大学特任教授)

#### (プロフィール)

昭和20年東京葛飾生まれ、早稲田大学卒業後、駒澤大学助教授等を歴任し、白鴎大学名誉教授、東北福祉大学特任教授。清溪セミナーでは常任講師として企画に携わる。近著に「シリ貧大国ニッポンー2025年問題の悲劇」(毎日新聞出版)

#### (内容)

東北をはじめ、各地の被災地に学生たちとボランティアとして出向き様々な経験をしてきた立場から、災害対策のあるべき姿を提言する。さらに参議院選挙後の日本の政治・経済・外交のゆくえを大胆に予測する。

10:30～10:45 休憩

10:45～12:15 講義Ⅳ



### 「男女共同参画と地方自治」

講師 坂東 眞理子  
(昭和女子大学 理事長・総長)

#### (プロフィール)

昭和44年東京大学卒業。総理府入省。平成7年埼玉県副知事、平成10年プリズベン総領事、平成13年内閣府男女共同参画局長。平成16年昭和女子大学・女性文化研究所長、平成19年学長、平成26年～理事長、平成28年～現職。著書「女性の品格」他 著者40冊以上。

#### (内容)

政治分野への女性参画を促すことは、21世紀の課題先進国日本が新しい取り組みを行う上で不可欠である。新しいコミュニティの構築を通じ若者の自立、育児・教育のシェア、リカレント学習、新しい働き方を探る。

12:15～13:20 昼食・情報交流会

13:30～15:15 講義Ⅴ



### 「真の地方創生と地方自治」

講師 片山 善博  
(早稲田大学大学院政治学研究科教授)

#### (プロフィール)

昭和49年東京大学法学部卒業。自治省入省。平成11年から鳥取県知事(2期)。平成19年4月から平成29年3月まで慶應義塾大学教授。この間平成22年9月から平成23年9月まで総務大臣。平成29年4月、早稲田大学大学院政治学研究科教授就任。

#### (内容)

真に住民と地域に視点を置いた地方創生を実現するためには何が必要か。

地方議員、議会はどのような役割を果たすのか、各地の実践も紹介しつつ改革への道筋を提示する。

15:15～15:30 閉会式

## 事務局

### 一般財団法人日本青年館 公益事業部 (飯塚/渋谷/小森)

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1  
電話 03-6452-9012 FAX 03-6452-9016

(平日9時～18時)

E-MAIL: selkei-seminar@nippon-seinenkan.or.jp

# 第24回清溪セミナー [申込書]

[基本情報について]

記入日 2019年6月11日

所 属 (議会名・会派名等)	飯塚市議会		
ふりがな 名 前	どい ゆきのり	TEL	0948 - 22 - 0214
	土居 幸則	FAX	0948 - 28 - 1251
住 所	[〒 820-8501 ] 福岡県飯塚市新立岩5-5		
EMAIL アドレス			
領収書の要・不要 (宛名)	必要 → 名前		

[参加講座等について] (講義名は変更する場合があります)

26日	13:00~14:30	講義Ⅰ「被災自治体からの提言 ～熊本地震の経験から～」(仮)	参加	29,000円
	14:45~16:15	講義Ⅱ「女性の視点を生かした災害に強い地域 づくり」	参加	
	16:30~18:30	同上 グループ討議	参加	
27日	9:00~10:30	講義Ⅲ「災害大国ニッポン、体験的防災論」	参加	
	10:45~12:15	講義Ⅳ「男女共同参画と地方自治」	参加	
	13:30~15:15	講義Ⅴ「真の地方創生と地方自治の役割」	参加	
27日	12:15~13:20	昼食 (日本青年館内でご用意します)	不要	1,900円

※上記は税込金額

その他通信欄	支払は当日でお願いします。(他の飯塚市議会議員も同様です。) また、連絡問い合わせ等は、他の議員分も含め江口が対応します。
--------	---

※本申込書1枚に1名様分をご記入ください。複数必要な場合はコピーしてご使用ください。

※日本青年館公式サイト (<https://nippon-seinenkan.or.jp/seinenkan/>) から

ダウンロード可能です。

清溪セミナー事務局 FAX 03-6452-9016



## 議会改革のタマシをつなぐ

議会基本条例の時代を迎えて13年余、初期に議会基本条例を制定した自治体ではすでに2、3回の改選を経て、策定を経験していない議員が増えています。今年の統一選でも新たな議員が多数誕生しました。

議会改革のさまざまな項目が、なぜ必要とされ、どのような効果を意図して導入されたのか。「制度だから実施する」という認識で取り組むことだけが期待されているわけではありません。今、行われている新人議員研修は十分にその効果を発揮しているのでしょうか。議会改革のタマシを新人議員に継承していくためには、どんな取り組みが必要とされているのでしょうか。

議会基本条例制定後、改選を何度か経験してきた議会の経験を共有しながら、議会改革を「つなぐ」ための課題を確認し、さらに議会改革を進めるために参加者と議論を行います。どうぞ、ご参加ください。

◎ 日時	7月28日(日) 10:00～15:30 (昼食休憩あり)
◎ 場所	法政大学外濠校舎 6F 薩埵ホール 東京都千代田区富士見2-17-1
◎ 参加費	議員1万円 / 市民2千円

- プログラム概要 (2019年6月5日現在。最新情報はwebで)  
総論、問題提起、事例報告、全体議論など
- 登壇(予定)  
広瀬克哉(法政大学)、長野基(首都大学東京)  
【事例報告】
  - ・ 議会基本条例10年目の検証(荻野泰男 所沢市議会前議長)
  - ・ 議会改革のミッションロードマップ(清水克士 大津市議会局次長)
  - ・ 改革を継続するための議員研修(岩崎弘宜 取手市議会事務局次長)
  - ・ 議員による新人議員研修(生駒市議会有志)
  - ・ 自治体議員の経験を活かす(小田理恵子 前川崎市議会議員)

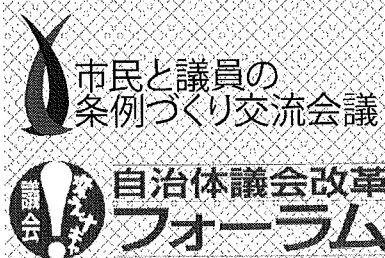
お申込みはweb、もしくは裏面で

- 主催 市民と議員の条例づくり交流会議 / 自治体議会改革フォーラム
- 共催 法政大学ポアソナード記念現代法研究所(調整中)
- 問合せ:事務局  
〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F  
TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463  
E-mail jourei@jourei.jp URL http://www.jourei.jp

市民と議員の条例づくり交流会議2019夏(第19回)

つなぐ議会改革

議会改革の歩みと成果、課題を検証し、議会改革をさらに進める道を議論します  
新人議員もベテラン議員も、ともに議論しましょう。ぜひ、ご参加ください



# 参加申し込み書

市民と議員の条例づくり交流会議2019夏（第19回）

## つなぐ議会改革

2019年7月28日（日）10:00～15:30

FAX 03-3263-9463（事務局宛）

ふりがな  
お名前（フルネーム）

どい 中まのり  
土居 幸則

ご所属

飯塚市議会

（議員の場合は、議会名、自治体職員の場合は、可能でしたら  
自治体名をご記入ください。市民の方は不要です）

参加種別

議員（参加費1万円）

市民（議員以外・参加費2千円）

（↑どちらかにチェックを入れてください）

EMAIL アドレス

y.doi.iizukatab@gmail.com

ご住所

〒

福岡県飯塚市堀池310-25

その他ご意見などがあればご記入ください

こくちーずのサイトからもお申込みできます。

こちらのQRからお願いします⇒



市民と議員の条例づくり交流会議 自治体議会改革フォーラム 事務局

〒102-0082 東京都千代田区一番町9-7-6F

TEL 03-3234-3808 FAX 03-3263-9463

E-mail [jourei@jourei.jp](mailto:jourei@jourei.jp) URL <http://www.jourei.jp>

## 予約詳細

ご予約内容は以下の通りです。ご予約の状況をご確認ください。

出発日（ご利用日）	照会番号	商品名	代表者名	予約状況	料金
2019年07月26日(金)	AG765742	航空券+宿泊「ANA旅作」	江口 徹様	予約確定	188,400円




## 出発日までの手続き




お支払関連	ご入金済み	
	旅行代金	188,400円
	ANA SKY コイン	600円
	ご入金額	187,800円
	クレジットカード	
領収書	「領収書発行」ボタンよりご確認ください。	
座席指定	指定済み	
お持ちいただく書類	ご出発日の21日前（21日前を過ぎたご予約の場合は24時間以内）にお送りする「最終のご案内」メール到着後、こちらより印刷が可能となります。 ※弊社より郵送する書類はございません。	

## お客様へのお知らせ




お申し込みの商品はご利用便・ご搭乗者名・プラン内容など、ご変更は承っておりません。変更をご希望の場合は改めてご予約をいただき不要なご予約を取り消ししてください（取消手数料が発生する場合がございますので確認のうえ操作をしてください）。

## 旅程

商品名	航空券+宿泊「ANA旅作」		エグゼクトオル様	カネモトヨシオ様	ドイユギノリ様	
出発日	2019年07月26日(金)					
旅程	お申し込み内容	ご利用数	予約状況			
1日目 7月26日 (金)	 ANA 242 福岡 08:00 - 羽田 09:45 普通席	3席	予約確定	● (37H)	● (37K)	● (37J)
	 日本青年館ホテル 【食事なし】ダイナミックパッケージ専用プラン 禁煙 洋室 シングル — スーペリア 1名1室利用 食事なし MAP 評価：4.5  129件のクチコミ	3室	予約確定	●	●	●
2日目	日本青年館ホテル 【食事なし】ダイナミックパッケージ専用プラン 禁煙 洋室 シングル					

7月27日 (土)		—スーペリア 1名1室利用 食事なし MAP 評価: 4.5  129件のクチコミ	3室	予約確定	●	●	●
3日目 7月28日 (日)		ANA 267 羽田 18:00 - 福岡 20:00 普通席	3席	予約確定	● (36K)	● (36H)	● (36J)
			1名様ごとのご旅行代金		62,800円	62,800円	<b>62,800円</b>

## お客様情報

	姓	名	年齢	性別	ANAマイレージクラブ お客様番号	サポート情報		
 代表者	全角カナ 漢字	エグチ 江口	トオル 徹	様 様	53歳	男性	5135304087	登録なし
 同行者1	カネモト	ヨシオ	様	51歳	男性		登録なし	
 同行者2	ドイ	ユキノリ	様	53歳	男性		登録なし	

## 旅客情報 (代表者様)

郵便番号 都道府県名・市区郡名

〒820-0001 福岡県飯塚市

町名・番地

鯉田2525-159

マンション名またはご勤務先・部署など

電話番号1

自宅 0948-24-9196

電話番号2 \*任意

メールアドレス

kawasaki1@mx7.tiki.ne.jp

